

## 2 廃棄物・リサイクルの状況

### (1) 一般廃棄物

一般廃棄物の総排出量（平成 20 年度）は、人口規模の大きい愛知県が 2,800 千 t と最も多く、次いで岐阜県が 768 千 t、長野県が 722 千 t、三重県が 711 千 t、石川県が 469 千 t、富山県が 407 千 t、福井県が 294 千 t となっています。また、1 人 1 日当たり排出量（平成 20 年度）では、石川県が 1,099 g/人・日、次いで愛知県が 1,058 g/人・日、三重県が 1,043 g/人・日と全国平均（1,033 g/人・日）を上回っていますが、その他の県は長野県 907 g/人・日、福井県 990 g/人・日、富山県 1,009 g/人・日、岐阜県 1,013 g/人・日と全国平均を下回っています。これを前年度と比較すると、全国平均では 5.1% 減となっている中で、石川県が 35.8% 減、次いで長野県及び三重県がともに 4.6% 減、福井県が 4.0% 減、愛知県が 3.5% 減、富山県が 2.0% 減、岐阜県が 1.4% 減といずれも減少しています。このうち石川県の減少率が突出していますが、これは平成 19 年 3 月に発生した能登半島地震の影響により、19 年度の総排出量が大きく増加したためとみられません。

一般廃棄物の最終処分量（平成 20 年度）については、平成 15 年と比較した減少率を見ると、いずれも減少していますが、石川県（43.5% 減）を除く 6 県では全国平均（34.6% 減）を下回っています。一般廃棄物最終処分場の 1 人当たり残余容量（平成 20 年度）は、愛知県が特に低く 0.4m<sup>3</sup>/人となっており、富山県、福井県及び長野県で 0.6m<sup>3</sup>/人と、全国平均（1.0m<sup>3</sup>/人）以下となっています。

一般廃棄物のリサイクル率（平成 20 年度）は、三重県が 31.0% と高くなっています。次いで長野県が 24.6%、岐阜県が 23.1%、愛知県が 22.9%、富山県が 20.9% と全国平均（20.3%）を上回っています。

### (2) 産業廃棄物

産業廃棄物の総排出量（平成 19 年度）は、一般廃棄物と同様に愛知県が 21,662 千 t と最も多く、三重県が 7,845 千 t、岐阜県が 5,686 千 t、富山県が 5,014 千 t と続いています。平成 19 年度と平成 14 年度を比較した増減率では、三重県で 42.1% 増加しているのを筆頭に、愛知県で 18.4%、岐阜県で 11.5% 増加するなど、経済活動が活発であった太平洋沿岸の工業地域を中心に全国平均（6.7% 増）に比べて増加している県があります。

平成 21 年度に新たに確認された産業廃棄物の不法投棄事案は、長野県で 1 件 9,220 t、愛知県で 5 件 540 t、三重県で 5 件 393 t、福井県で 8 件 357 t、石川県で 4 件 88 t でした。平成 21 年度末時点の不法投棄の残存量は、三重県で 1,865 千 t と多くなっています。次いで福井県 898 千 t、岐阜県 707 千 t、愛知県 474 千 t となっています。